

秋田市観光レンタサイクル貸出要綱

令和7年4月11日
専務理事決裁

秋田市レンタサイクル貸出要綱（平成22年4月1日施行）の全部を改正する。

（目的）

第1条 この要綱は、秋田観光コンベンション協会（以下「管理者」という。）が秋田市を訪れる観光客又はビジネス客（以下「観光客等」という。）に貸出用自転車（鍵およびその他貸与物を含む。以下同じ。以下「レンタサイクル」という。）を貸出す秋田市観光レンタサイクル事業の実施に関して必要な事項を定めることにより、秋田市中心部における周遊観光ならびに秋田市の歴史および文化を生かしたまちあるき観光の促進を図り、もって秋田市の観光振興に資することを目的とする。

（貸出および返却受付施設）

第2条 レンタサイクルの貸出および返却の受付を行う施設（以下「取扱施設」という。）は、別表第1のとおりとする。

2 管理者は、前項の規定にかかわらず、特に必要と認めるときは、期間を定めて臨時の取扱施設を設置することができるものとする。

（利用対象者）

第3条 レンタサイクルを利用できる者は、秋田市を訪れた市外からの観光客等であって、この要綱に定める事項を遵守し、かつ自転車の乗用に安全上支障がない中学生以上の者とする。ただし、18歳未満の者にあつては、その保護者が同伴しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者については、これを利用することができる。

(1) 管理者が支援する教育旅行に参加する中学生以上の者であつて、事前に学校単位で申込をし、かつ保護者の同意を得ているもの。

(2) 秋田市内の大学等（学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学および短期大学をいう。）に籍を置き、秋田市に居住する者であつて、秋田県外の出身であるもの。

（貸出期間等）

第4条 レンタサイクルの貸出期間、貸出受付時間および利用時間は、別表第2のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、特に必要があると管理者が認めるときは、これを変更することができる。

（利用の申込）

第5条 レンタサイクルを利用しようとする者（以下「申込者」という。）は、利用しようとする日に、秋田市観光レンタサイクル利用申込書兼誓約・同意書（様式第1号。以下「申込書」という。）を管理者へ提出しなければならない。

2 申込者は、前項に規定する申込書に代えて、当該申込書に記載すべき内容を管理者が指定する電磁的方法（電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法をいう。以下同じ。）により申込をすることができる。

3 前2項の申込は、運転免許証、個人番号カード（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第7項に規定する個人番号カードをいう。）、学生証その他氏名、住所等を証明する書類を提示して行わなければならない。

（利用の承認）

第6条 管理者は、前条の規定による申込書の提出があつたときは、その内容を審査の上、直ちに承認の可否を決定する。

2 前項の規定により交付の可否を決定したときは、秋田市観光レンタサイクル利用承認通知書兼領収書（様式第2号。）又は秋田市観光レンタサイクル利用不承認通知書（様式第3号）により、申込者に通知する。

3 管理者は、前項の承認をする場合において、必要な条件を付することができる。

4 管理者は、第2項に規定する承認通知書に代えて、当該承認通知書に記載すべき内容を管理者が指定する電磁的方法により通知をすることができる。

（利用の制限）

第7条 管理者は、申込者によるレンタサイクルの利用が次の各号のいずれかに該

当するときは、前条第2項に規定する利用の承認を行わないものとする。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害する恐れがあると認められるとき。
- (2) レンタサイクルの管理上、支障があると認められるとき。
- (3) 荒天等のため、申込者に危害等が及ぶことが予測される時。
- (4) 貸出可能なレンタサイクルがないとき。
- (5) 利用の条件に誓約・同意しないとき。
- (6) 過去にレンタサイクルを利用し、この要綱の規定又は利用の条件に従わなかったことがある者から申込があったとき。
- (7) その他管理上必要な指示に従わないとき。

(利用料金)

第8条 申込者は、レンタサイクルの貸出を受ける際に、別表第3に規定する利用料金を納付しなければならない。

(利用区域)

第9条 第6条第2項の承認を受けた者（以下「利用者」という。）がレンタサイクルによって移動できる範囲は、秋田市内および秋田市に隣接した区域に限るものとする。

(権利譲渡等の禁止)

第10条 利用者は、レンタサイクルの利用に関する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(損害賠償の義務)

第11条 利用者は、自己の責めに帰すべき事由により、レンタサイクルを損傷し、滅失し、又は紛失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を管理者に賠償しなければならない。

(返却義務)

第12条 利用者は、別表第2に規定する利用時間内に、取扱施設へレンタサイクルを返却し、レンタサイクルの点検を受けなければならない。

2 前項の点検により、利用者の責めに帰すべき事由による損傷等があったときは、第11条の規定による損害の賠償をしなければならない。

(利用中の事故の責任)

第13条 レンタサイクルの利用中に発生した事故により、利用者が自ら損害を被り、

又は第三者もしくは第三者の財産に損害を与えたときは、当該利用者が責任を負うものとし、管理者は、その賠償の責めを負わない。

- 2 前項に規定する場合において、当該レンタサイクルについて管理者が加入するTSマーク付帯保険（自転車安全整備士が点検・整備を行った普通自転車に貼付される公益財団法人日本交通管理技術協会が発行・交付をするマークに、賠償責任補償、傷害補償等が付帯された保険をいう。）、その他賠償責任保険が適用される場合は、当該利用者は、当該保険による損害の補償を受けることができる。

（厳守事項）

第14条 利用者は、次に掲げる事項の全てを厳守しなければならない。

- (1) この要綱、道路交通法その他関係法令等を遵守するとともに、善良な注意をもってレンタサイクルを利用すること。
- (2) 利用する前には、レンタサイクルに異常がないことを必ず確認すること。
- (3) 秋田市が定める自転車等の放置禁止・規制区域に駐輪しないこと。
- (4) 利用中にレンタサイクルから離れる場合は、必ず鍵を施錠すること。
- (5) 放置自転車として撤去された場合は、返還に要する諸費用を利用者が負担の上、自らの責任でレンタサイクルの返還を受けること。
- (6) レンタサイクルは、貸出時と同じ場所へ返却すること。
- (7) 利用中にレンタサイクルの紛失、滅失もしくは故障、又はお客様に怪我等のトラブルがあった場合は、管理者へ速やかに連絡すること。
- (8) 利用中に事故が発生したときは、事故の規模にかかわらず、直ちに事故発生日時・場所・原因・事故の状況などを所管の警察および管理者へ連絡するとともに、その他法令上必要な措置を講じること。
- (9) 前号の事故によって生じた損害に係る示談等の交渉が必要なときは、利用者の責任においてこれを行うこと。

（個人情報の管理）

第15条 管理者は、利用者の個人情報（個人に関する情報であつて、特定の個人を識別することができるもの（他の情報と照合することにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）をいう。）を保管し、又は利用するに当たっては、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。）、その他関係法令を遵守し、その業務の目的の達成に必要な範囲内でこれを保管し、および

利用しなければならない。ただし、当該利用者の同意がある場合その他正当な事由がある場合は、この限りでない。

(委任)

第16条 この要綱に定めるもののほか、この事業の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年4月11日から施行する。ただし、第8条の規定は、施行の日から起算して1年を超えない範囲内において別に定める日から施行する。

別表第 1（第 2 条関係） 取扱施設

取扱施設	所在地
秋田市まちなか観光案内所	秋田市大町一丁目 2 番 3 7 号

別表第 2（第 4 条関係） 貸出期間等

取扱施設	貸出期間	貸出の受付時間	利用時間
秋田市まちなか 観光案内所	4 月 1 日から 10 月 31 日まで	午前 9 時から 午後 5 時 00 分まで	午前 9 時から 午後 6 時 00 分まで
	11 月 1 日から 11 月 30 日まで	午前 9 時から 午後 4 時 00 分まで	午前 9 時から 午後 5 時 00 分まで

備考 レンタサイクルは、利用の承認を受けた日の利用時間の終期を超えて引き続き利用することはできない。

別表第 3（第 8 条関係） 利用料金

単位	利用料金
1 台 1 日	1, 000 円